

茨木市立 清溪小学校 茨木っ子グローイングアップ計画

令和元年10月作成

1

3年間の計画

	目標	平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	平成31年度(2019年度)
中学校ブロック保幼小中連携	彩都西中学校ブロックでの連携組織を確立させる。	「見合う・知り合う」 ○彩都西中学校で合同授業研 12月6日(水)1年 ○小小交流(彩都カーニバル、運動会の見学、連水連運に向けて) ○小中連携(体験授業・部活見学) ○ブロック連携会議(月1) ○小学校への出前授業 ○他校の校内研修への参加	「目標と共通実践の決定」 ○清溪小学校で合同授業研 ○小小交流 ○小中連携 ○ブロック連携会議(月1) ○小学校への出前授業 ○合同研修会 ○連携担当者以外の担当者会を行う ○他校の校内研修への参加	「実践より、成果と課題」 ○彩都西小で公開合同授業研 ○小小交流 ○小中連携 ○ブロック連携会議(月1) ○小学校への出前授業 ○合同研修会 ○各担当者会議 ○他校の校内研修への参加 ○9年間のカリキュラムの見直し、実践後の成果と課題
確かな学力の育成	基礎・基本の定着と主体的に、学ぶ子どもたちを育てる	①基礎・基本の定着 →朝学習(のびっこタイム)の実施《算数・国語》 ②「読む」力の育成 →「朝の読書タイム」、音読カード、読書カードの利用、読書目標の設定、ともしび号の活用、読書月間 ③「書く」力の育成 →日記や作文等の日々の学習、「清溪広場」における体験学習の感想、読書感想文などの取組み ④「聞く」「話す」力の育成 →見通しをもち、筋道を立てて自分の考えを表現する場の設定 ⑤わかる授業づくり →算数、国語アンケートの実施 国語科を中心とした授業研究	・学力向上推進計画の検討 ・学力向上推進体制の構築 ・研究授業の実施 ・研修会の実施 ・H29年度の結果を踏まえた計画の評価及び見直し	・学力向上推進計画の検討 ・学力向上推進体制の構築 ・研究授業の実施 ・研修会の実施 ・H30年度の結果を踏まえた計画の評価及び見直し
豊かな人間性を育む	いじめや仲間はずれを許さず協力し合える子どもたちを育てる	①清溪広場 →恵まれた自然環境を活かしたさまざまな体験活動、6学年の縦割り集団活動、いろいろな人々とのふれ合い、学び合いの場 ②人権教育 →学期ごとの学年実態交流会、性教育、社会福祉体験学習、国際理解教室、平和学習(絵本の読み聞かせ、作文、児童の発表)の実施 人権作品、冬季研、日々の道徳の取組み	・本校の特長を活かした全学年縦割り活動を実施 ・人権教育カリキュラムの検討 ・人権教育カリキュラムの構築 ・H29年度の結果を踏まえた計画の評価及び見直し	・本校の特長を活かした全学年縦割り活動を実施 ・人権教育カリキュラムの検討 ・人権教育カリキュラムの構築 ・H30年度の結果を踏まえた計画の評価及び見直し
健康体力の増進	運動の日常化を図り運動を楽しむ子どもたちを育てる	①基礎体力の向上 →体幹を鍛える運動・縄跳び・持久走・ボール運動の実施 ②体力テストの実施 →年2回(5月・11月)実施し、結果をもとに、自分自身の生活を見直す機会等とする。 <全学年対象> ③水泳指導による泳力向上 →各児童の泳力に応じたグループ分けを行い、スモールステップによる泳力向上を図る。 ④「清溪小ホップ・ステップ・ジャンプ29」の設定 →体を動かそう週間・縄跳び集会・児童朝会における体力向上の取組み(シャトルランなど)及びチャレンジマラソンの実施<全学年対象>	・体力向上推進計画の検討 ・体力向上推進体制の構築 ・H29年度の結果を踏まえた計画の評価及び見直し ・「ホップ・ステップ・ジャンプ30」の設定	・体力向上推進計画の検討 ・体力向上推進体制の構築 ・H30年度の結果を踏まえた計画の評価及び見直し ・「ホップ・ステップ・ジャンプ31」の設定

2

今年度の結果と取組みについて

全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、生活習慣調査の結果につきましては、児童数が少ないため公表いたしません。

○●取組み●○

学力向上に関する取組み

- ・授業規律の確立による、落ち着いた学習環境づくり。
- ・合同授業の実施による、集団づくり。
- ・全校児童で取り組む「清溪広場」の活動による人間関係づくり。

★「学ぶ力」の育成

① 基礎・基本の定着

→朝学習（のびっこタイム）の実施 1・2年(国語・算数)、3・4年(国語)

→日々の家庭学習

② 「読む」力の育成

→「朝の読書タイム」、音読カードの利用、読書目標の設定、読書月間などの取組み、ともしび号の活用

③ 「書く」力の育成

→日記や作文等の日々の学習、「清溪広場」における体験学習の感想、読書感想文などの取組み

④ 「聞く」「話す」力の育成

→見通しをもち、筋道を立てて自分の考えを表現する場の設定（日常の授業の中で）

→児童朝会・清溪広場等での「話す」「聞く」態度の育成

→「ランチタイムスピーチ」の取組み

⑤ 思考力・説明力・自己表現力の向上

→「清溪ランド」の設定（4～6学年対象）

⑥ わかる授業づくり

・研究主題を「自ら学び心豊かな子どもをめざす～国語科を中心とした自己表現力を育む授業づくり～」と設定し、研究を進めている。

→国語についての児童アンケート、実態把握テストの実施、分析による取組み

→「国語科」における研究授業事前研修会と研究授業検討会の実施

○●子どもたちに育みたい力●○

取組み

- ・ゆめ力 ・ ・ ・ 将来への希望を持たせる取組み。(キャリア教育など)
個々に合った適切な目標設定を行い、目標達成して成功体験を重ねて、意欲関心を培う。
- ・元気力 ・ ・ ・ 全校縦割り活動を引き続き取り組む。
日々の道德の授業や、人権を意識した指導に努める。
- ・自分力 ・ ・ ・ 家庭とも連携し、規則正しい生活習慣を身につけさせる。
- ・つながり力 ・ ・ ・ 登下校、学級、学年、全校での取組み。
自然環境・地域の人材を生かした総合学習の実施。
- ・学び力 ・ ・ ・ 宿題だけでなく、自主学習にも励むようにさせ、自ら課題を見つけ、それについて調べたり、まとめたりできるように取り組む。
課題に意欲的に取り組み、最後まで解く粘り強さを身につけるようにさせる。

○●体力●○

取組み

①体を動かそう朝会 (児童会で)

→氷オニや逃走中など走って逃げる遊びを取り入れたり、新しい運動内容の紹介や、縄跳び・大縄跳び、長距離走などの運動を代表委員会が中心となり企画し全校で取り組む機会を設定する。

②体を動かそう週間の実施【学期に1回(1週間)】

→全身持久力及び巧緻性の育成に繋がる種目やボール運動に親しむことなどを考慮した上で、保健体育委員会が中心となり全校で運動する機会を設定する。

③新体力テストの実施(5月)【シャトルランは全学年で実施】

→各学年の全国平均を掲示すると共に、結果を児童に返却することで自分の現在の体力を知る。苦手な分野の体力強化は体育の準備運動の時間を活用して取り組む。(タグ取りゲームや縄跳び、ラダーを使った運動など。)

④チャレンジマラソンの実施(1年間)

→「マラソンカード」を配布し、一人ひとりが体育の授業や業間休み、放課後に取り組むことができるようにする。

⑤耐寒マラソン

→寒い時期(1月頃)に全学年で6分間走り続ける取り組みを1週間連続で行う。